

授業科目名	運動障害の予防と応急処置			年 次		1 年	
				学 科(コース)		医療健康スポーツ 科 ( スポーツトレーナーインストラクター コース)	
担当教員名	山田 航大			開講年度・学期		2025年度 前期・後期	
授業の方法	講義・実習	週時限数	1限	年間授業時数	40時間	科目区分	必修
実務経験の有無	有	実務経験	病院、クリニックでの理学療法士の経験をもとに幼児用スポーツ指導教室を主宰				
授業の概要 (実務経験を 活かした教育 内容)	運動指導を行う上で、内科的および外科的障害とその救急処置に関する知識は欠かせません。この授業では内科的および外科的障害についてとその救急処置の方法を学習していきます。指定教科書を使用し講義と質疑を展開し、かつ心肺蘇生法やファーストエイドなど、一部に関しては講義を踏まえた実技も展開する。						
授業の到達目標	内科的および外科的障害・外傷を理解し、救急処置を実践することができる。						
	週	前期内容		週	後期内容		
	1	オリエンテーション		1	神経系の障害①		
	2	応急処置施行者となるために		2	神経系の障害②		
	3	事故への対処①		3	高温と低温による影響①		
	4	事故への対処②		4	高温と低温による影響②		
	5	傷病者の評価①		5	異物、中毒、咬傷と刺創①		
	6	傷病者の評価②		6	異物、中毒、咬傷と刺創②		
	7	意識のない傷病者①		7	その他の症状①		
	8	意識のない傷病者②		8	その他の症状②		
	9	呼吸器系の障害①		9	手技と備品①		
	10	呼吸器系の障害②		10	手技と備品②		
	11	呼吸器系の障害③		11	救命救急処置①		
	12	創傷と循環①		12	救命救急処置②		
	13	創る傷と循環②		13	救命救急処置③		
	14	創傷と循環③		14	救命救急処置④		
	15	創傷と循環④		15	救命救急処置⑤		
	16	骨、関節および筋肉の損傷①		16	救命救急処置⑥		
	17	骨、関節および筋肉の損傷②		17	救命応急処置⑦		
	18	骨、関節および筋肉の損傷③		18	救命応急処置⑧		
	19	骨、関節および筋肉の損傷④		19	救命応急処置⑨		
	20	まとめ		20	救命応急処置⑩		

成績評価の方法	筆記テスト、実技課題(献立など)、出欠状況、授業態度
準備学習・事後学習等	特になし。
テキスト	第2版 NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識
参考書・参考資料等	担当者が授業時に関連した文献を紹介します。
その他 (学生に対する要望、メッセージ)	特になし。